

山川異域，風月同天

ジャン シュオユイ
教育学部 研究生

2019年12月、中国の武漢で新型コロナウイルスが爆発しました。僅か二ヶ月で、中国人民は大変な状況に陥りました。今回のウイルスの猛威は、2002年の新型肺炎より恐ろしく、すさまじい伝播速度、すさまじい致死率で、国全体と世界全体を危機に陥れています。それに伴って、医療用品が少なくなり、マスクが品切れになり、都市が封鎖され、人々が自粛することになりました。私は、その前から日本に留学しています。母国の家族のことが心配ですが、同時に、日本の人々、和歌山の人々の温かさも感じていました。

新型肺炎の発生以来、日本政府と社会の各界は次から次へと援助の手を差し伸べて、様々な仕方で中国の疫病との闘いを支援しました。そのことに、私は非常に感動させられました。中日は一衣帯水の友好的な近隣であり、疫病を前にしてさらに固く結ばれた運命共同体です。中国駐日大使館によると、2月7日までに、日本国内各界は保護マスクを633.8万個余り、手袋104.7万枚余り、防護服と隔離服を17.9万セット以上、ゴーグル7.8万個余り、大型CT検査設備1台（価格300万円）、体温計1.6万個以上、及び保護帽、靴カバー、防護靴、消毒靴、消毒靴用品など、累計募金額は約3060.2万人民元を中国に送りました。二階俊博氏は中国の駐日大使と会見し、日本側は全国の力を挙げ、全力を尽くして中国側に援助を提供し、中国側と共に疫病に立ち向かうと表明しました。日本政府と日本人民の友情は中国人民の心に感謝とともに心に深く刻まれました。



画像1：HSK 日本事務局から湖北省へ寄贈する支援



画像2：和歌山県庁から山東省へ寄贈する支援

和歌山県と中国の山東省は1984年4月18日に友好関係を結びました。和歌山に留学している私は和歌山外国語専門学校で武漢や山東省を応援するビデオの録画に参加しました。日本の人々が私たちに力を与えてくれていることを感じました。もっと信頼しあえば今回のウイルスに打ち勝つことができます。

日本はコロナウイルスを防止する重要な時期に入りました。中国と同じように、さらに厳しい挑戦に直面しています。そこで今度は、中国政府が、日本に5000セットの防護服と

10万枚のマスクを寄付しました。最初の物資はすでに2月27日、28日に東京に到着しました。多くの中国地方の省と市、企業と個人も積極的に行動して、日本に寄付をし、日本のために応援しています。

日本から中国に渡った留学僧が、鑑真和上に「山川異域風月同天」という言葉を使って、来日を切々と訴えた時、和上は「山川異域 風月同天 奇諸仏子 共結来縁」、という言葉挙げて日本行きを決意されたそうです。日本語にすると、「中国と日本には同じ山川はない、しかしながら風と月も同じものだ。まことにこれ仏法興隆に、有縁の国だ」という意味になります。今回の疫病は非情ですが、でも一衣帯水の両国がお互いにより信頼し合い、2020年の中日関係が新たな時代に向かう重要なきっかけになったとも言えます。今回の疫病の渦中で、中日両国の国民は共に難関を乗り越えるとともに、両国の関係が緊密になっています。私は疫病が早く過ぎ、中日の経済交流と文化交流が急速に発展することを望みます。留学生として私も両国の交流に貢献したいと思います。



画像3：「がんばれ武漢」新型コロナウイルス、大阪。道頓堀に応援バナー

出典：

【画像1】AFP BB NEWS／Xinhua News／2020年2月12日20:21配信／

<https://www.afpbb.com/articles/-/3267949> (2020年7月13日閲覧)

【画像2】日本大力驰援中国并非偶然，中日双方守望互助、携手抗疫！／2020年2月23日配信／

<https://www.6parkbbs.com/index.php?app=index&act=view&cid=1252685> (2020年7月13日閲覧)

【画像3】産経新聞／THE SANKEI NEWS／2020年2月8日16:22配信

<https://www.sankei.com/life/news/200208/lif2002080026-n1.html> (2020年7月13日閲覧)

Even though the landscapes are diverse, we share the wind and moon under the same sky.

Jiang Shuoyu

Faculty of Education, Research Student / China

Novel coronavirus broke out in China in December 2019. Chinese people were in deep water in just two months. The virus came suddenly and violently, which was more terrible than SARS in 2002. Its amazing spreading speed and terrible death rate made the whole country and even the whole world fall into crisis. Accompanied by the scarcity of medical supplies, the shortage of masks, even the closure of Wuhan, the whole Chinese people are at home. During this period, I studied in Japan, not only worried about the tension of my family, but also felt the warmth of the Japanese people and the people of Wakayama.

The mountains and rivers are different, the wind and the moon are the same. Although the epidemic is merciless, it makes two countries with water in one belt trust each other more. 2020 is a very important year. I sincerely hope that the two countries will become closer and support each other, and make the economic development and cultural exchanges between the two countries closer and closer.

山川异域，风月同天

姜铄宇

教育学部 研究生 / 中国

2019年12月，中国武汉爆发了新型冠状病毒，短短的两个半月内，中国人民陷入到水深火热之中。这次病毒来的突然，来的猛烈，比2002年的非典更加可怕，惊人的传播速度，可怕的致死率，让整个国家乃至整个世界都陷入到危机之中。伴随而来的是医疗用品稀缺，口罩断货，甚至武汉封城，全中国人民都居家自肃。这段时间我在日本留学，既有担心国内家人的紧张情绪，也感受到了日本人民，和歌山人民的温情。

和歌山县和中国的山东省在1984年4月18日缔结了友好关系，那时我在和歌山外国语专门学校还亲身参与到了为武汉为山东加油的视频录制中，我感受到了日本人民给予我们的力量，让我们更有信心战胜这次的病毒。近期中国政府还将分批次向日本捐赠5000套防护服和10万只口罩，其中前两批物资已于2月27日、28日运抵东京。很多中国地方省市、企业和个人也在积极行动，向日本捐款捐物，为日本加油打气。

山川异域，风月同天，这次疫情虽然无情，但是却让两个一衣带水的国家更加信任彼此，2020是很重要的一年，衷心的希望两个国家越来越紧密，相互支持，让两个国家的经济发展文化交流越来越密切。